

今年も中3夏期合宿実施。この合宿をキッカケにして中学3年生が受験に対してより前向きに取り組むようになります。この合宿の持つ意義とは？ぜひご一読下さい。

文理学院は、今年の夏も毎年恒例となっている中学3年生対象の勉強合宿を実施しました。8月6日～14日の期間に、4つのグループに分かれてそれぞれ2泊3日の日程で行いました。

この勉強合宿は、高校入試を受験する中学3年生にとって大きな意義を持っています。合宿終了時の生徒の皆さんによるアンケートを基に、この合宿の持つ意義を改めて考えてみましょう。

小学生を対象に行われたシンクロナイズドスイミングの合宿

先日、テレビである合宿のことが紹介されていました。それは小学生を対象としたシンクロナイズドスイミングの合宿で、8月29日～31日の2泊3日の日程で神戸で行われたものです。練習は午前と午後みっちりで行い、夜は自由時間という設定でした。そして、指導者は、なんとリオオリンピックで日本チームを指導し銅メダルに導いた井村雅代コーチでした。井村コーチは、参加者達に、「無理」・「いや」・「できない」は絶対に言わないよう話されていました。なにしろ厳しい練習で有名なコーチですから、始めてすぐに泣き出す参加者もいて、前途多難を感じさせられました。それでも井村コーチは、「ここで我慢すれば、必ず素晴らしい達成感が得られるんですよ。それはとても大切なことなんです。」と子ども達を励まし続け、最後までやり通させました。最後に参加者全員がいくつかのグループに分かれ、4段の人間ピラミッドをプール内で完成させた時には、自分の子どもの合宿での成長ぶりに感激して涙を流す母親がいるほどでした。そして、何よりも

感動したのは井村コーチご自身が涙を流されていたことです。

スケジュールがよりハードな文理学院の勉強合宿

文理学院の合宿の意義は、ある意味そのシンクロナイズドスイミングの意義と一致しています。ただ、日程上では、文理学院の合宿は朝から晩まで勉強する時間割が組まれていますので、より厳しいと言えます。生徒の皆さんは、食事と入浴以外はほとんど勉強です。1日目はまだ大丈夫なのですが、2日目や3日目は集中力も途切れがちで睡魔との戦いになります。そして、途中で何度も心が折れそうになるのだそうです。でも、毎年そうなのですが、合宿に参加した生徒の皆さん全員が、『参加してよかったですか。』の問いに対して『はい』と答えてくれているのです。

数多くの生徒達のターニングポイントはこの勉強合宿

現在富士高校に通っているTくんは、昨年参加した合宿を振り返って、『あの合宿がぼくの受験のターニングポイントでした。知らない人と一緒に勉強してとても刺激を受けたこと、また、家で3～4時間勉強しても、まったく苦にならなくなったことなど、得ることが多くとても「ため」になりました。』と話しています。毎年のことながらTくんのように、「合宿がターニングポイントになった」と考える人達は本当にたくさんいます。では、今年の合宿に対する生徒の皆さんの反応は一体どうだったのでしょうか。

今年の合宿のアンケート調査からうかがえる生徒の皆さんの率直な反応

【Q1】合宿に参加してよかったですか。

Aさん 改めて勉強する姿勢と身につけられたと思います。また苦手な所を見つけて良かったです。

Bさん 普段家や塾で勉強しているときより、集中して勉強できました。周りの人がよい刺激となり、良かった。

Cさん 周りが知らない人はかなりで緊張したけど、みんなが集中している良い雰囲気の中で勉強ができて、よかったです。またやりたいと思った。

生徒の皆さんによりますと、最後の授業が終わるや否や、『やった、やり切ったぞ!』という思いで頭の中が一杯になるのだそうです。そして、疲れているんだけど、疲れなんか忘れてしまうくらい充実した気持ちにだんだんなってくるのだそうです。開始当初は不安感や逃げ出したい気持ちと闘い、後半にかけては魔物のような睡魔と闘う。その闘いに勝ち抜いた者だけが得られる充実感・達成感には本当に貴重なものです。

【Q2】この合宿に参加して、得たことは何ですか。

Dさん 受験に向けて一層やる気が下へ

Eさん 集中力が高まったと思う。

Fさん 勉強の面白さ、集中力を養うこと。

この勉強合宿から得られるもの

次に、「この合宿で得たこと」という問いに対しては、多くの生徒さん

が「集中力」や「やる気」がとても高まった、と回答しています。また、解けなかった問題が解けるようになったことにより、勉強が楽しくなった、と回答している人もかなりたくさんいます。生徒の皆さんの学習状況は一人ひとり違います。しかし、生徒さんそれぞれが、この合宿を通して非常に大切なものを得たんだということが、アンケートからはっきりと読み取ることができます。

【Q3】この合宿に参加して入試に対する意識は変わりましたか。

Gさん 多少変化。今自分は何を目標にしているかがはっきりしてきた。

Hさん 変わった。今よりもっと勉強に対する気持ちがかたくなってきた。

Iさん 変わった。今回学んだことを忘れず、入試に向けて粘り強く頑張りたい。

高校入試に対する意識の変化と精神面での大きな効果

生徒の皆さんは、この合宿をやり抜き、その結果として、達成感や充実感をしっかりと味わい、集中力や忍耐力を養い、『努力すること』の大切さを体感しました。高校入試を迎える中学3年生にとって、これらの体験は精神的に大きな支えとなり自信の源になることはまちがいありません。実は、何か一つのことをやり遂げるという経験は高校入試はもちろん、その後の大学入試や社会人になってからも、つまりその人の一生を通じて貴重な精神的支えになります。井村雅代コーチはそれを参加した小学生達に伝えたかったのでしょう。文理学院は、生徒の皆さんにそういう貴重な経験をしてもらうために、今後もこの合宿を継続してまいります。来年参加されることになる中学2年生の皆さんはもちろん、他の学年の生徒さんも、どんなことでも中途半端にせず「やり遂げる」ことから得られる様々な意義をお考えいただき、今後も勉学に積極的に取り組んでいただけるようお願いいたします。